

総合評価基準

『お客様の声分析システム』の構築及び保守サービスの提供

日本郵政株式会社
クライシスマネジメント統括部

本評価基準については、『お客様の声分析システム』の構築及び保守サービスの提供の仕様書に基づいて定めたものであり、評価に当たっては次により行う。

なお、落札者が入札者とともに提出した提案書の内容は、仕様書等と同様にすべて納入検査等の対象とする。

1 必須要件

提案書は、仕様書に定める要求要件をすべて満たしていなければならない。

ただし、一つでも仕様書に定める要求要件を満たしていない場合は、その後の評価は行わず、当該提案書を不合格とする。

2 必須以外の要件

仕様書に定める要求要件を超える部分について、更に有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高 140 点の点数を与える。

なお、評価する提案内容及び配点については、「総合評価基準表」（別紙）のとおりとする。

【5段階の評価点（n）】

5：とても良い 4：良い 3：普通 2：やや悪い 1：悪い

総合評価基準表

1 必須要件

評価項目	評価観点	評価
提案書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 提案書は、すべての仕様項目に対して記述し、仕様書および仕様書別記に定める各要件におけるすべての要求を満たす内容であること。 仕様書別記の機能要件、非機能要件及びセキュリティ要件の必須項目を全て満たす内容であること。 提案書作成要領に定める留意事項及び提案書の様式等を遵守していること。 	合格又は不合格

2 必須以外の要件

評価項目	評価観点	配点
機能要件	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書別記の「機能要件」において「望ましい」としている項目が実現できている場合に、これを評価する。 	30 (n×6)
セキュリティ要件	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書別記の「セキュリティ要件」において「望ましい」としている項目が実現できている場合に、これを評価する。 	30 (n×6)
プロジェクト体制	<ul style="list-style-type: none"> 委託内容を遂行するために最適な実施体制（役割・要員・責任体制・支援体制・サポート体制・リスク対応等）に関して、具体的な提案が記述されているかを評価する。 委託内容の実施にあたる要員の専門性及び経験は十分であると認められるかを評価する。 	10 (n×2)
スケジュール管理	<ul style="list-style-type: none"> 委託内容の遂行に係る WBS (Work Breakdown Structure) によるタスクスケジュールを定め、システム稼働までのスケジュールを含め、最適かつ具体的に記述されているかを評価する。なお、WBS を記載した全体作業計画書を定めていること。 	10 (n×2)
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 研修プログラムについての具体的な提案及び支援内容の充実度に応じて評価する。 	10 (n×2)
情報管理・セキュリティ管理等の体制	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務遂行にあたり、情報管理が適切に行われる体制等を構築しているかを評価する。 	20 (n×4)
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> 業務の継続性の観点から、システム導入後のランニングコストにおけるコスト削減に関して、最適かつ有益な提案がある場合は、これを評価する。 	10 (n×2)
人権尊重の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重に関する方針やガイドラインを策定し、かつ、有効な取組みを行っているか。あるいは、ガイドライン等は策定していないが、有効な取組みを複数行っている場合は、これを評価する。 	10 (n×2)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 上記のほかに、システムの利用及び支援業務について特に有益となる提案を評価する。 	10 (n×2)
合計		140